

令和5年度 十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があった方や、広く市民の模範となる方をたたえるものです。



故 織川 貴司さん
(享年82歳・西五番町)

地方自治の振興発展に貢献

昭和58年に十和田市議会議員に当選して以来、令和4年まで8期31年余りの長きにわたり市政の枢機に参画し、地方自治の振興発展と住民福祉の向上に大きく貢献した。その間、市議会議長、総務文教常任委員会委員長などの要職を歴任し、議会運営の円滑化、教育、地域医療などの充実、農業など産業振興に意を注ぎ、市政発展に尽力した。

また、(公社)十和田市シルバー人材センター理事長ならびに(公社)青森県シルバー人材センター連合会会長として、高齢者の就労支援・社会参加の促進に尽力し、地域社会の発展にも大きく貢献した。



畑山 親弘さん
(78歳・切田字平林)

地方自治の振興発展に貢献

平成3年に十和田市議会議員に当選して以来、令和4年まで8期30年余りの長きにわたり市政の枢機に参画し、地方自治の振興発展と住民福祉の向上に大きく貢献した。その間、市議会議長、議会改革特別委員会委員長などの要職を歴任し、議会における活動の支柱となる「十和田市ひらかれた議会づくり基本条例」の制定に努めるなど、市政発展に尽力した。

また、奥入瀬川クリーン対策協議会会長として、河川敷の清掃などのボランティア活動に積極的に取り組み、自然環境の保全に尽力し、地域社会の発展にも大きく貢献した。

令和5年度 十和田市文化に関する表彰

『文化功労賞』は、永年にわたり文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である方、『文化奨励賞』は、優れた文化の創造および普及活動を続け、市民の文化向上に寄与した方に贈られます。

文化功労賞



佐々木 秀美さん
(74歳・深持字南平)

晴山獅子舞の伝承・普及・発展に取り組むとともに、地域の子どもの指導にも携わり、文化芸術活動の機会充実や後継者育成に尽力している。

また、現在は十和田市伝統芸能協会会長として、郷土芸能の保存、普及に尽力し、本市の文化の向上に寄与している。

文化功労賞



佐藤 福一さん
(76歳・洞内字後野)

南部駒踊りの拍子方(笛)として長きにわたり活動。また、洞内南部駒踊保存会副会長を務め、現在は顧問兼笛の師匠として、大深内地区少年駒踊り設立当初から関わるなど後継者育成に力を注ぎ、地域の伝統文化継承に大きく貢献している。

文化功労賞



高瀬 英夫さん
(71歳・法量字銀杏木)

東北巨木調査研究会会長、十和田市文化財保護協会理事などを務め、県内外の巨樹・巨木の調査や森林自然遺産の保護活動に尽力するとともに、奥瀬山中の巨大ブナや法量のイチヨウなど市内にある巨樹・巨木などの魅力を市民や観光客に発信する活動を積極的に行っている。

文化奨励賞



十和田湖ろまん短歌会
(会長 外山 國雄)

十和田湖公民館短歌講座から発足。会員は日々の生活や労働そのものを短歌の素材として表現し、感性を磨き合っている。

会員は小学生から80代後半まで幅広い年齢層で構成されており、歌集の出版や県内外の大会に各会員が入賞するなど、今後のさらなる活躍が期待される。

令和5年度 十和田市民功労賞

十和田市民または市に縁故の深い個人などで特に社会的な功労が認められた方に贈られます。

(地方自治)



赤石 継美さん
(76歳・奥瀬字析久保)

平成3年に十和田湖町議会議員に当選して以来、令和4年まで8期31年余りの長きにわたり、議員活動を通じて、地方自治の振興と住民福祉の向上に大きく貢献した。その間、市議会副議長、総務文教常任委員会委員長などの要職を歴任し、町政ならびに市政の発展のため尽力した。

また、平成26年から上北森林組合組合長を務めるなど、農林業の振興にも大きく貢献した。

(統計調査)



辻浦 勝憲さん
(84歳・西十四番町)

昭和37年に工業統計調査員に委嘱されて以来、50年間の長きにわたり住宅統計調査、国勢調査、農業センサスなど多くの統計作業に献身的に取り組み、常に迅速かつ正確に調査を遂行し、統計調査の推進発展に大きく貢献した。

また、平成23年から十和田市統計協会会長として、統計調査員の確保と資質向上に力を注ぐとともに、統計思想の普及・啓発に大きく貢献した。

(保健衛生)



泉山 伸さん
(72歳・相坂字小林)

平成5年から30年の長きにわたり、十和田市生涯健康づくり推進協議会の部会員ならびに会長として、本市の健康課題解決に向けて尽力したほか、令和元年からは十和田地区医師会会長として、新型コロナウイルス接種体制の確保に尽力するなど、保健衛生の向上に大きく貢献した。

また、学校医として30年の長きにわたり、児童・生徒の健康診断などに携わり、学校保健の充実にも大きく貢献した。

(社会福祉)



十和田地区
更生保護女性会
(会長 東 静)

昭和45年の発足以来、52年の長きにわたり犯罪および非行の未然防止に向けた啓発活動に尽力した。特に、更生保護施設での奉仕活動や地域のボランティア活動に取り組むなど、犯罪や非行に陥った人たちが社会復帰でき、誰もが安心して生き生きと暮らせる地域社会づくりに大きく貢献した。

(産業経済)



株式会社
大泉製作所十和田工場
(代表取締役社長 坪 勝彦)

昭和42年の操業開始以降、56年の長きにわたり、本市初の誘致企業として、経済発展や雇用創出に大きく貢献した。十和田工場では、人々の暮らしに欠かせない自動車の空調や家庭で使用されるエアコンなどの電化製品をはじめ、緻密さや正確さが求められる医療機器などに使用する部品の製造工程を担っている。

(産業経済)



株式会社
昭和ドレストワダ研究所
(代表取締役社長 樋口 康治)

昭和45年の操業開始以降、53年の長きにわたり、誘致企業として、本市の経済発展や雇用創出に大きく貢献した。これまでに積み上げてきた縫製技術力を発揮し、高級ブランドの受注を手掛けるほか、コロナ禍においては、医療従事者向けの防護服を製作するなど、感染対策にも大きく貢献した。